



<http://www.mbkworld.co.jp>

2025年2月3日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社  
代表取締役社長兼CEO 高 崎 正 年  
(コード3121 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役CFO 加 藤 東 司  
(TEL 03-6434-5540)

## 再生可能エネルギー分野への投資への取組みについて

2024年9月2日並びに2024年9月9日にお知らせいたしましたとおり、当社子会社で、Nasdaq Baltic に上場する Estonian Japan Trading Company AS (以下、「E J T C社」といいます。)は、投資事業として、エストニアの上場会社への投資に取り組んでおります。

各業種でエストニアを代表する Nasdaq Baltic 上場会社数社に投資を行っておりますが、再生可能エネルギーについても、将来性の高い事業分野として注目し、投資を行っております。

エストニアは、世界有数のオイルシェールの産地として知られており、2018年には発電量の76%をオイルシェールに依存しておりましたが、オイルシェールは環境負荷が大きいことから、2050年までに排出量実質ゼロを達成することを掲げております。

E J T C社が投資している上場会社は、エストニアを拠点に、バルト海地域で、バイオマス、風力など再生エネルギー分野の発電施設の開発、運営を行っており、エストニアで進められる大型の洋上風力発電プロジェクトにも取り組んでおり、また、フィンランドやポーランドといった隣国の市場開拓などにより、さらなる成長を見込んでおります。

さらに、E J T C社では、エストニアで小型の風力発電に取り組み、急成長しているベンチャー企業から、日本への進出について相談を受けており、情報交換並びに情報収集を行っております。

地球温暖化に対する国際的な具体的取組として、温室効果ガスの排出量に応じた金銭的な負担を求める排出量取引制度は、EUでは2005年に始まり、日本でも2026年度に本格稼働いたします。

E J T C社だけでなく、マーチャント・バンカーズ株式会社といたしましても、蓄電池を含む再生可能エネルギー分野を、社会性や将来性、成長性の高い事業分野として注目し、積極的に、企業や事業プロジェクトの情報収集を行い、投資を行ってまいります。

以 上